

1 管内の特徴

福島森林管理署白河支署は、福島県中通り南部の2市5町6村の地域を管轄しており、そのうち、白河市、西郷村、須賀川市、天栄村、古殿町、平田村、玉川村の7市町村に所在する国有林約3万4千haを管理し、公益重視の管理経営を進めています。

管内には、優れた自然景観を有している日光国立公園や大川羽鳥県立自然公園などがあり、奥地山岳地帯においては本格的な登山、都市近郊にあっては、ハイキングや自然観察、スキーなど、森林を利用したレクリエーションや保健休養の場として四季を通じて多くの人々に利用されています。



聖が岩キャンプ場（白河市）



羽鳥湖スキー場（天栄村）



三本槍岳（（1,917m）西郷村）



2 沿革

白河支署は、明治19年に栃木大林区署の白河派出所として開庁されました。明治23年に白河小林区署と改称された後、福島大林区署、宮城大林区署、東京大林区署の管轄となり、大正13年に営林局署制が公布されたことに伴い、白河営林署となりました。

昭和22年には、3省庁所管の国有林を農林省林野局に一元化する林政統一が行われ、前橋営林局の管轄となり、平成11年3月、国有林野を将来にわたって適切かつ効率的に管理運営するため、組織再編が行われて現在に至っています。

現庁舎は、昭和32年に建てられて60年余り経ており老朽著しいこと等から、この度、現庁舎裏側に新庁舎が完成しました。

新庁舎への移転後に、現庁舎の取壊しや外構等の付帯工事が進められ、年度末には全体が完成する見込みです。

余談ですが、現庁舎と同じ時期に建てた署長官舎も近くにあります。これまで様々な維持修繕を行っていますが、風通しの良さだけには効果がなく、季節を感じる生活をしています。

現在の庁舎



新庁舎の様子



完成イメージ



署長官舎の様子



3 主な取組事項

(1) 森林整備の推進

管内のスギやヒノキの人工林は、戦後に植栽されたものが多く、現在、主伐期を迎えています。この充実した森林資源を計画的に伐採して再造林を進めていくことが健全な森林の育成に繋がりますが、これを円滑に進めていくためには、造林コストの縮減に向け、低コストで効率的な作業システムを構築する必要があります。白河支署では、植栽本数や下刈回数を見直すとともに、これまで、別々に行っていた伐採作業と地拵・植付作業を、高性能林業機械でまとめて行う一貫作業システムを導入し、トータルコストの縮減に取り組んでいます。

一貫作業システムによる地拵の様子



(2) 木材の安定供給

今年度の素材生産量は17,000m³を計画しています。地域の林業・林産業の振興に繋がるよう、地元の製材工場や合板工場等と協定を締結して、安定的・計画的に供給するほか、カラマツ等の丸太については、いわき木材流通センターや郡山木材製材協同組合へ出荷して販売しています。また、地元の製材業界からのニーズも高い短尺材や小径材については、現場の土場に、はい積して公売を行っています。

プロセッサによる玉切作業



はい積された丸太



(3) 国土の保全

地域の方が安全・安心に暮らせるよう、治山事業を進めています。

東日本大震災により大規模な山腹崩壊が発生し、崩落土砂が県道や河川を寸断するなど、甚大な被害をもたらした天栄村西部の戸倉山では、平成24年度から継続して復旧治山事業を行っており、土砂崩壊の防備に努めています。

戸倉山治山工事（天栄村）



崩壊直後の戸倉山



(4) 国民参加の森林づくり

ボランティア団体等の方々による自主的な森林整備活動を推進するため、国有林野の中に「遊々の森」や「ふれあいの森」を設定しています。国有林野のフィールドを提供するとともに、職員が技術指導を行うなど、国民参加の森林づくりに積極的に取り組んでいます。

年間を通して様々な活動が行われていますので、いくつかご紹介します。

○赤面太郎の森

西郷村にある国有林野を使用していたスキー場が経営破綻し、ゲレンデ等の跡地の表土が洗掘され無残な状況となっていることを見兼ねた地元住民の皆さんが、村内13団体の協力や同村の支援の下、赤面山に緑を取り戻すという願いを込めて、平成27年から毎年5月に植林活動を進めています。

赤面山は、かつて豊かな森林が広がり「赤面太郎」と呼ばれる大熊が生息していたという言い伝えが残ることから、「赤面太郎の森」となりました。

ボランティア団体等の植林活動（西郷村）



体験活動の様子（白河市）

○おもてごう天狗の森

平成21年から毎年6月に表郷小学校の4年生を招いて、白河市木戸ヶ入国有林にある天狗山に親子で登り、山頂で記念植樹を行い、将来の自分へ手紙を投函するという体験活動を行っています。

おもてごう天狗の森は、巣箱や簡易な遊歩道も整備されています。カタクリ・ショウジョウバカマ・ニリンソウ等の植物が咲き乱れる一角もあり、たくさんの方が見学に訪れます。



○芝山自然公園

いわき市・古殿町・平田村の3市町村の境にある芝山自然公園は、古殿町芝山国有林と平田村高田国有林に跨がる場所に位置し、標高819mの山頂からは360度の展望が開けています。那須連山や太平洋まで見渡すことができ、地元はもとより遠方からも多くの方が訪れる観光地となっています。芝山自然公園美化協力会は、年2回、芝生広場の刈払いや歩道修理などを行っており、当署も毎年参加して技術支援等を行っています。

芝山自然公園美化協力会は、長年にわたる美化活動が認められ、今年度、全国森林レクリエーション協会が主催する地域美化コンクールにおいて、奨励賞を受賞しました。

芝山自然公園での清掃活動（平田村）



（5）民有林と国有林の連携強化の取組

民有林と国有林が隣接する地域において、作業道の整備や間伐等の森林整備を一体的・計画的に行い、低コストの伐採や木材の安定供給を推進するため、平成23年2月、福島県・古殿町・白河支署の三者で「古殿地域森林整備推進協定」を締結しました。

毎年、運営会議や現地検討会を開催して、関係者間で意見交換・情報交換を行いながら、間伐や路網整備等の森林整備が順調に進められています。

今年度は、民有林を間伐して出材される丸太の一部と国有林材を協調出荷することとしています。

民有林の所有者の方にとって、新たな販路が生まれるほか、これまで林地残材となっていた丸太も販売できるといったメリットが期待されるところです。

4 おわりに

白河支署の取組み等についてご紹介しました。

今後とも、地域の皆様のお声をお聞きし、地元市町村や民有林関係者の方と更に連携を深めながら、署をあげて、地方創生に貢献する取組を積極的に進めて参ります。